



### E ひえだ 稗田環濠集落



大和平野に多く造られた、周囲を濠に囲まれた集落の遺構の一つです。戦国の争乱のなかで農民たちが自衛のために造った施設であり、また農業水利の便を図るためのものであったと考えられています。一時的に雨水をため、少しずつ川に流し込むという、治水の役割も果たしていました。

### F 高田川畔の千本桜

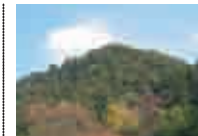


大和川の支川、高田川では堤防沿いの桜並木が市民の憩いの空間として親しまれています。昭和23年に植樹された桜並木が今日では「千本桜」に成長し、住民のお花見や散歩のコースになっています。また、水辺プラザ整備事業による親水空間の整備も進み、環境学習や安らぎの場にもなっています。



### G 曾我川治水緑地

曾我川の中流部で治水と浸水被害の軽減を目的に整備された遊水地。周辺の緑地は住民から都市公園としても利用されています。大和平野での大規模な遊水地計画は初めてであり、貯留型の治水計画を進めていく上で、今後の指針となっています。親水施設等も整備され、環境学習に最適です。



### H 与喜山暖帯林

大和青垣国定公園北部の春日山と高円山、南部の天神山と三輪山は、それぞれ原始林と二次林の対照的な植生を持っています。このうち、天神山は昔から長谷寺の寺領として伐採が禁じられてきたので、原生林が鬱蒼と茂り、「与喜山暖帯林」として昭和32年に天然記念物に指定されました。



### I 吉野川分水

吉野川の水を奈良盆地に送る「吉野川分水」は住民の悲願であり、1987年の大工事でその願いが実現しました。大淀町下流からトンネルを通して吉野川の水を奈良盆地に送る。これが吉野川分水です。御所市において東側と西側に分かれる分水工を経由して、奈良盆地内に水が送られています。

## 「大和川流域委員会」とは

国土交通省では、平成9年の河川法改正に伴い新たな「河川整備計画」を策定することになりました。同省近畿地方整備局は、今後概ね30年間の具体的な河川の整備の内容を示す河川整備計画を策定するにあたり、学識経験者等から意見を聞くために、各水系に流域委員会を設け、大和川では平成16年に「大和川流域委員会」を設立しました。大和川流域委員会は「大和川水系河川整備計画（原案）」の策定にあたり次のことを行います。

- (1) 河川整備計画の原案について意見を述べる
- (2) 関係住民意見の聴き方について意見を述べる



委員会メンバー（50首順、敬称略） [※平成23年4月1日現在]

- 伊藤忠通（奈良県立大学地域創造学部教授・学長：経済）
- 井上和也（京大名誉教授：河川工学）◎委員長
- 沖村 孝（神戸大名誉教授、財団法人建設工学研究所常務理事：地盤工学）
- 荻野芳彦（大阪府立大名誉教授：農業水利、水資源環境工学）
- 加我宏之（大阪府立大大学院生命環境科学研究科准教授：緑地計画、景観計画）
- 黒田伊彦（元大阪樟蔭女子大講師、大和川市民ネットワーク副代表：歴史、教育、地域活動）
- 小松清生（元堺市立錦小学校教諭、大和川市民ネットワーク事務局長：教育、歴史）
- 椎葉充晴（京大大学院工学研究科教授：水文学、水資源工学）
- 千田 稔（奈良県立図書館情報館長、立命館大大学院文学研究科客員教授：歴史地理学）
- 谷 幸三（元大阪産業大人間環境学部生活環境学科非常勤講師、社団法人淡水生物研究所理事：水生生物の分類と生態、環境教育）
- 中川 一（京大防災研究所流域災害研究センター河川防災システム研究領域教授：治水[土砂移動]）
- 仲川政成（橿原市五井町総代、五井町自主防災会会長：地域の歴史、地域活動）
- 前迫ゆり（大阪産業大大学院人間環境学研究科教授：植物生態学、保全生態学）
- 森下郁子（社団法人淡水生物研究所所長：生態系）
- 山下 淳（関西学院大法学部教授：法律）◎委員長代理
- 米田 稔（京大大学院工学研究科教授：水質、土壌汚染、環境リスク解析）
- 和田 萃（京大名誉教授、奈良県立橿原考古学研究所指導研究員：日本古代史）

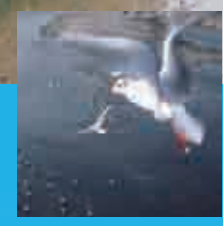
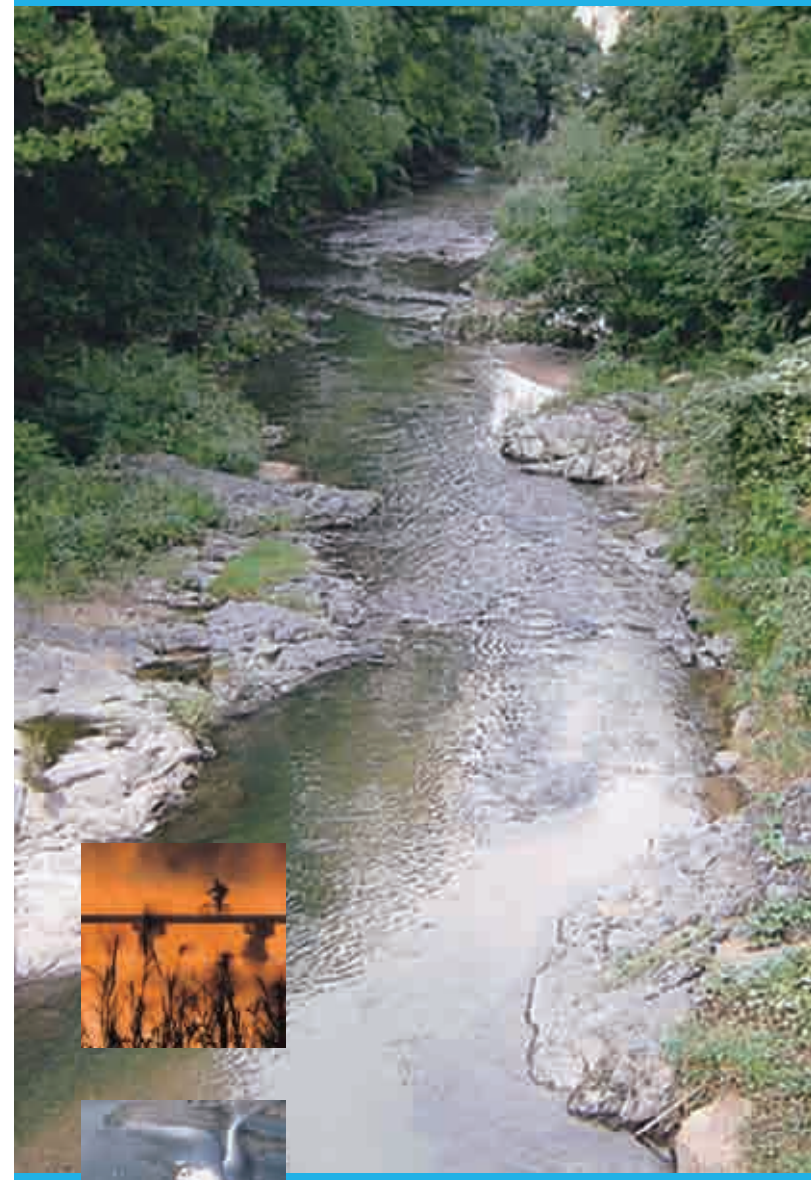
### ホームページと広報誌のご案内

大和川流域委員会の活動はホームページと広報誌「大和川流域委員会ニュース」でご覧いただけます。「大和川流域委員会ニュース」は、ホームページ「ニュースレター」のコーナーからダウンロードできます。



<http://www.kkr.mlit.go.jp/yamato/iinkai/>  
 <お問い合わせ>  
<http://www.kkr.mlit.go.jp/yamato/consult/>  
 [※表紙写真は和歌山コンクール入賞作品]

# 大和川の未来を考えます



## 大和川周辺の魅力・見どころ

### A みこしとぎよさい 神輿渡御祭



鎌倉時代に始まったとされる住吉祭の神輿渡御は、40年以上途絶えていましたが、2004年に復活しました。「ペーら」のかけ声とともに繰り返し神輿を差し上げながら、紀州街道を大阪市の住吉大社から堺市の宿院頓宮まで練り歩きます。途中、大和川の河中を渡る光景は大阪夏祭り締めくくりにふさわしく壮観です。



### B 治水記念公園

昔から洪水の絶えなかった大和川。江戸時代に、その解決のため大和川の流を変え、淀で汚れた水を沈めさせたのが庄屋である中甚兵衛でした。現在治水記念公園があり、幕府を動かした中甚兵衛の像が建っています。



### C 瀬と淵浄化施設

瀬と淵浄化施設は、川を持つ自然浄化作用を利用します。瀬で酸素を水に溶け込ませ、淵で汚れた水を沈めさせます。瀬の石には微生物が付着し、その微生物が汚れを分解します。大和川下流の各所に設けられており、河川に新たな魅力を生みだし、散策や水辺活動のスポットになりつつあります。



### D 亀の瀬狭窄部

大阪府と奈良県の境にある深谷で、水際まで河畔林が覆う景観は美しく変化に富んでいます。亀の瀬の下流部には平瀬や砂洲が形成され、水と緑が豊かな貴重な空間です。地すべりを止める主な工事は完了し、排水トンネル見学など、防災学習の場としても利用されています。

## 大和川流域委員会



